

ユニット2

●ユニットのねらい

学習リソースを活用する力
積極的に聞く力
自己修正力



●考えてみよう1

- ・これまでどんなときに誰からアドバイスをもらいましたか。
- ・人からアドバイスをもらうメリット(利点)は何だと思えますか。
- ・人に相談するとき、気をつけることはありますか。

●考えてみよう2

あなたはレポートを書くのに必要な、ある本を探しています。図書館のウェブサイトからデータベースを使って検索してみましたが、あなたの大学の図書館にはないようです。図書館の受付に行って、他大学の図書館から本を取り寄せることができないかなど、ほかの方法について相談します。

図書館の受付に行って、最初に何と言いますか。

- A こんにちは。(あなたの名前)と申します。
- B はじめまして。ちょっと手伝ってほしいことがあります。
- C すみません。探している本があるんですが・・・。
- D お世話になります。〇〇学部の(あなたの名前)です。

●ミニタスク

みなさんの大学には、学生が相談し、アドバイスがもらえる施設がありますか。どのような施設やサービスがあるか、ウェブサイト調べたり、実際に施設を見学しに行ったりなどして調査し、わかったことを以下の表にまとめ、クラスに報告してください。

| 施設/サービスの名前 | サービスの内容 | 利用方法 |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
| 例:ライティングセンター | 自分が書いたレポートや発表の原稿などを持っていけば、どこを直せばもっとよくなるかなど、アドバイスをもらうことができる。書く前の、テーマや構成を考える段階でのアドバイスももらえる。 | ウェブサイト予約をして、ライティングセンターに行く。(オンラインでアドバイスをもらうこともできる) |
| 例:メディカルセンター | けがや病気の相談だけでなく、友だちとの関係や成績のことなどで | ウェブサイト予約をして、メディカルセンターに行く。(オンライン |

| | | |
|---------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------|
| | 悩んで眠れないなど、こころの不調についても相談にのってもらえる。 | でアドバイスをもらうこともできる) |
| 例:パディ制度 | 同じ学部の先輩に、大学生活や授業のこと、就職活動のことなどについて、相談することができる。 | 学内の説明会に参加し、申し込みをすれば、同じ学部の先輩を一人紹介してもらえる。 |
| | | |
| | | |



●このユニットの言語活動

このユニットでは、大学のライティングセンター（作文やレポートなどについての学習支援を行っているところ）に行き、作文のアイデアや、自分が書いた作文の下書きについて相談し、アドバイスをもらいます。作文をさらによいものに仕上げるために、自分自身が悩んでいることや助言がほしい点を相手に伝え、アドバイスやコメントをもらいます。

●目標の確認

- 1) 自分が目標としたいパフォーマンスを想像し、1～7の中から今回目標にしたい点を選び、「私の目標」のところに✓を入れてください。また、自分で加えたい目標があれば、下に書いてください。
- 2) 1)で決めた目標について、今、それぞれどのくらいできるのかを考えて、「事前評価」のところに「◎(よくできる)」「○(できる)」「△(まあまあできる)」「×(できない)」「?(できるかどうかわからない)」から1つ書いてください。

| | | 私の目標 | 事前評価 | 事後評価 |
|---|---------------------------------------------------|------|------|------|
| 1 | 相談をする際、場面や状況にあった、適切なあいさつや話の切り出しをすることができる。 | | | |
| 2 | 相談したい内容や、自分自身の状況を、相手の立場に立って、わかりやすく説明することができる。 | | | |
| 3 | 相手との関係性や場面を考えて、日本語のスピーチスタイルを選び、それをある程度維持することができる。 | | | |
| 4 | 自分がどのような支援や助言を求めているかを相手にわかりやすく伝えることができる。 | | | |

| | | | | |
|----|--------------------------------------------------|--|--|--|
| 5 | 相手が話しにくさを感じない程度に、文法の間違いが少なく、聞きやすい発音で話を続けることができる。 | | | |
| 6 | 場面にあった、適切な会話の終え方ができる。 | | | |
| 7 | もらったアドバイスを理解し、よいと思ったアドバイスを次の行動に活かすことができる。 | | | |
| 8 | | | | |
| 9 | | | | |
| 10 | | | | |



私は緊張すると、話す順番がめちゃくちゃになってしまうので、全体について相談したあとに、こまかい内容について話すようにしたいです。



話をしながらメモをとるのが苦手なので、上手にメモをとることも目標に加えたいです。

●表現やストラテジーについて考えてみよう

ペア、あるいはグループで①から⑧について考えてみましょう。

- ①相談に行く前にどんな準備をしますか。何を用意しておきますか。
- ②何時に行きますか(アクセスしますか)。例えば、11時に予約をしている場合、何時に行きますか。
- ③最初に言うことは何ですか。どのように挨拶しますか。
- ④相談内容をわかりやすく伝えるためには、どのように説明をすればいいでしょうか。
- ⑤相手の言ったことがよく聞き取れないとき、どうしますか。
- ⑥相手の言ったことがよく理解できないとき、どうしますか。
- ⑦相手のアドバイスをその場で覚えきれないとき(忘れてしまいそうなとき)、どうしますか。
- ⑧相談時間が終わったとき、何と言いますか。どのように挨拶しますか。

●表現やストラテジーについて考えるためのヒントやアイデア

- ①相談に行く前にどんな準備をしますか。何を用意しておきますか。

- ・自分で修正や解決ができることは済ませておいて、相談したい問題をはっきりさせておく
→時間を効率的に使うことができ、より有意義なセッションになります
- ・メモや原稿を「画面共有」するなど、相手に見せられるよう準備しておく
- ・相手から求められれば見せられるように、関連する資料を用意する
(課題のプリント、読んだ本、大学のパンフレット、応募先のウェブサイトなど)
- ・使うかもしれない物、道具を用意しておく (例: 筆記具、原稿のデータ、学生証)

●練習してみよう(リハーサル)

グループで、ライティングセンターの先生、相談する学生、やりとりを観察する人になり、リハーサルをしてみましょう。観察をする人は、いいところや直したほうがいいところなど、気づいたことをメモしましょう。終わったら、グループで、気づいたことを共有しましょう。

●言語活動

予約をした日時にライティングセンターに行って、相談をします。振り返りのために録音をしてもいいか、先生の許可をとってから、録音をしてください。

●振り返り

言語活動が終わったら、振り返りをしましょう。